

おおたの未来づくり 単元計画シート

開桜小

単元名	健康増進！開桜オリジナル弁当を考え販売しよう。（第6学年）		
内容	A ものづくり (イ)	総時間数	35
目標	<p>「開桜オリジナル弁当」の販売に向けて、栄養バランスや色合いなど様々な視点の知識を身に付け、企業や保護者広報課や栄養士や調理師に向けて改善点などを提案する活動にグループで協働しながら主体的に取り組もうとする態度を養う。</p> <p>「開桜オリジナル弁当」販売に向けて、より効果的に販売するにはどのような広報活動が必要かを試行錯誤して、企業や広報課に提案・実践することができる。</p> <p>「開桜オリジナル弁当」の販売に携わることで、職業体験やキャリア教育など就業について考えることができる。</p> <p>「開桜オリジナル弁当」の売り上げが企業としてどのように社会に貢献しているかを理解する。</p>		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<p>「オリジン東秀」の方の授業を基に、「誰のために」「どういった目的で」という相手意識と目的意識をもって、弁当作成のためのコンセプトを設定する。学級ごとに設定したコンセプトを、地域の方々の思いを反映させるために、大森に住む人々や大森ならではの食材について考え、地域に根差した弁当になるように話し合いを重ねていく。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・オリジン東秀 ・東邦大学 ・大田区環境公社 ・開桜小学校栄養士、調理師
デザイン	<p>弁当の具材などを栄養バランスや彩、味付けなどを意識して考え、個人で考えたアイデアをグループで共有し、よりコンセプトに合った弁当を考える。その弁当について、学級内で役割を分担しながら弁当のよさやコンセプトが伝わるプレゼンテーションを作成する。</p> <p>その後、「オリジン東秀株式会社」の方の前でプレゼンテーションを行い、会社としての目線でフィードバックをしていただき、ブラッシュアップをする。よりコンセプトに合った弁当を作成する方法を考える活動を通して、コンセプトを意識してアイデアを出し合う力を重点的に指導する。その際、東邦大学の方からは「減塩・食物繊維」「食のSDGs」について、カルビーの方からは「食品ロス」をテーマに「食品生産現場における取り組み」についてのお話を伺い、弁当の作成に生かしていく。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・オリジン東秀 ・東邦大学 ・大田区環境公社 ・こらぼ・このはな ・開桜小学校栄養士、調理師 ・保護者
クリエイション	<p>「クリエイション」でデザインした弁当を家庭で実際に調理し実食する。保護者にも試食してもらい、いただいた感想をもとに、弁当のブラッシュアップを目指す。</p> <p>また、グループごとの弁当を学級内で発表し、学級で一つの弁当を決める。各班で調理するおかずを決めた後、調理実習として実際に調理し実食する。また、学校の先生や5年生にも試食してもらい、感想をもらおうと同時に、5年生には来年度の見通しをもってもらえるようにする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・オリジン弁当 ・東邦大学 ・大田区環境公社 ・こらぼ。このはな ・保護者
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科名等	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 		8
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。 		4
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。 		3
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。 		2
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもって、健康・安全で豊かな食生活に向けて考え、工夫する活動を通して、食事の役割、調理の基礎、栄養を考えた食事に関する知識及び技能を身に付け、食生活の課題を解決する力を養い、地域住民の食生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成すること。 		3
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。 		15